

III 学校経営方針



【教育信条】

あくまでも優しく あくまでも厳しく

【学校教育目標】
(めざす児童生徒の姿)

「児童生徒の主体的に生きる力を伸ばし、地域社会の中で豊かに生活する人を育てる」

学校経営の基本姿勢

【めざす学校像】

- 児童生徒が安心・安全に学習できる学校
- 児童生徒の学ぶ意欲が高まる学校
- 保護者が安心、信頼できる学校
- 地域の人々とともに共生する学校
- 職員が仕事のやりがいをもてる学校

知・徳・体「生きる力」

【めざす児童生徒像】

【何が出来るようになるか～育成を目指す資質・能力の三つの柱】

- 学んだことを生活の中に生かそうとする子
【知識及び技能の習得】
- 自ら考え行動しようとする子
【思考力、判断力、表現力等の育成】
- 進んで学び、人と関わりながら地域社会に参加しようとする子
【学びに向かう力、人間性等の涵養】

【めざす教職員像】

- 児童生徒の安心・安全を最優先に考え行動する教職員
- 授業・指導・支援の充実を目指し常に学ぶ教職員
- 専門性を磨き、活力と創造性にあふれ連携・協働する教職員
- 児童生徒・保護者・地域社会等から信頼される教職員
- 明るく健康で責任と実践を大切にする教職員

【何を学ぶか～教育課程の編成】

- ・「学校教育目標の実現」に必要な教育内容の選択
- ・教科等を学ぶ意義と、教科等間、学校段階間(学部間)のつながりを踏まえた教育内容の検討と実施
(教科等・学部横断的視点)

【児童生徒が主語になる学校】

- 児童生徒の発達をどのように指導・支援するか

【どのように学ぶか～めざす授業・教育内容の実施】

- ・一つ一つの知識がつながり、「やってみたい」「わかった」「考えることが楽しい」と思える授業
- ・見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業
- ・周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- ・自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業

★ 安心で安全な居場所

- ・人権を尊重した丁寧な対応と説明責任
- ・危機管理意識の向上
- ・子どもが主語、主役になる環境の整備

【何が身に付いたか～学習評価を通じた学習指導の改善】

- ・個別の指導計画を基にした、児童生徒の成長・学習成果の確認と共有
- ・単元ごと等の評価を通じて、次指導の改善
- ・学習評価を活用した児童生徒の目標の見直し
- ・学習評価を活用した指導(授業)内容の改善

★ 社会に開かれた学校【教育課程の編成】

- ・児童生徒が主体的に取り組む教育内容の検討
- ・地域資源を活用した教育活動の展開・充実

【小学部】

- 身の回りの人や物などへの興味・関心を広げ、基本的な生活習慣を身に付ける。
【知識及び技能】
- 体を動かし、丈夫な体を作る。
【思考力、判断力、表現力等】
- 興味・関心の幅を広げ、自分から取り組む力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
- 自分や他人に対する意識を育て、教師や友達と一緒に活動する態度を養う。
- 人に伝える経験や伝わる喜びを通して、コミュニケーションの基礎的能力を養う。

【高等部】

- 社会生活に必要な基本的な生活習慣を身に付ける。
【知識及び技能】
- 身体の状態の改善・維持・増進を図る。
【思考力、判断力、表現力等】
- 自ら考え、主体的に行動する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
- 意欲的に社会参加する力を身に付ける。
- 心理的な安定を図り円滑にコミュニケーションを取れる力を身に付ける。

「魅力ある学校づくり」

【中学部】

- 健康的な生活を送るための生活習慣を養う。
【知識及び技能】
- 日常生活の中で身体を動かす習慣を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
- 自ら進んで学び、行動する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
- 人との関わりをとおして、社会性を身に付け集団で行動する力を養う。
- 周囲の人々と気持ちを伝え合う力を養う。

【寄宿舎】

- 挨拶等日常的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- 寄宿舎生一人一人の発達段階に応じた基本的な生活習慣の確立を図る。
- 社会参加・社会自立に向けた適応力を高める。

◎個別的教育支援計画・個別の指導計画に基づく指導の充実を図る

- 学習指導
 - ・学習指導要領（子どもが主語になる主体的・対話的で深い学びの追求）を踏まえた指導の充実
 - ・ICT教育の推進（情報活用能力の向上等）
 - ・食育の充実・推進
 - ・寄宿舎教育における子どものADL（日常生活動作）、QOL（生活の質）の向上
- 生徒指導
 - ・生徒指導提要の理解と活用
 - ・危機管理教育の充実（避難訓練等、身を守るための学習）
 - ・言語環境、社会規範意識の醸成、対応
- 進路指導
 - ・高等部卒業後の生活を意識した学習の充実（学部横断的、学舎横断的）
 - ・三者（子ども・保護者等、学校）の合意による現場実習等の充実

◎ウェルビーイングな学校をめざして

- 学校づくり
 - ・子どもが主語になる教育の推進
 - ・安心・安全な学校の推進（危機管理マニュアル等の見直し等）
 - ・教務・舍務・事務の連携・強化（効率的・効果的な予算執行等）
 - ・児童生徒の実態や社会情勢等に応じた教育課程の改善・再編成
 - ・指導内容等の見直し（教科等、学部横断的繋がり重視）
 - ・基本的人権の尊重、人権意識の醸成
 - ・ウェルビーイングな関係構築
 - ・働き方改革の推進（学校DX化など）
 - ・開校50周年記念事業の推進
- 人づくり
 - ・主体的・対話的で自走できる集団
 - ・子ども、教職員、保護者等、地域との協働
 - ・専門性、指導力の向上
- まちづくり
 - ・BY（美唄養護学校）プロジェクトの推進
 - ・社会貢献活動の推進・充実
 - ・SDGsの推進

重点教育目標

将来を見通した児童生徒が主語になる授業の改善・充実

重点経営目標

地域社会で豊かに生きる力が育つ地域との連携・協働

重点キーワード

『「ありがとう」と言える人、「ありがとう」と言われる人を育てる学校』

研究主題(テーマ)

「主体的に生きる力を伸ばし、地域社会の中で豊かに生活する児童生徒が育つ学校へ～教育課程の編成～」

カリキュラム・マネジメントの充実

教育方針

経営方針